

確定拠出年金 ニュースレター

DEFINED
CONTRIBUTION
PENSION PLAN
NEWSLETTER

Vol.18



Contents

1 心とお財布が幸せになる!お金との付き合い方 第3回
年金を遅らせて受け取るという選択肢
心とお財布を幸せにする専門家 FP 山中 伸枝氏
..... P2

2 **長期投資を再定義しよう**
さわかみ投信株式会社 澤上 龍氏
..... P5

3 **市況レポート 2018年度下期**..... P8

4 **コールセンターからのお便り**
..... P11

5 推薦図書 **6月12日 無料セミナーのご案内** P13

6 **サービスご利用案内について**
..... P14

心とお財布が幸せになる! お金との付き合い方

第3回 年金を遅らして 受け取るという選択肢

心とお財布を幸せにする専門家
FP 山中 伸枝



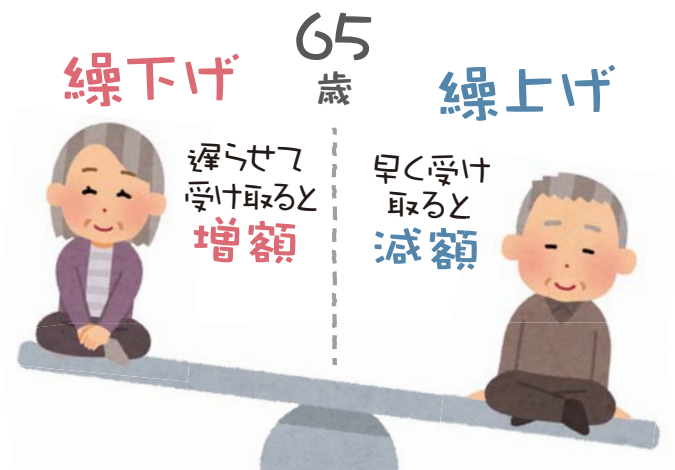
こんにちは、心とお財布を幸せにする専門家ファイナンシャルプランナー（FP）の山中伸枝です。

人生100年という言葉が最近はどこでも耳にするようになりました。金融庁が発表している情報によると、現在60歳の方が90歳まで生存する確率は46.4%、95歳まで生存する確率は25.3%なのだそうです。つまりご夫婦なら、どちらかおひとりは90歳以上まで長生きされるということです。

最近では、厚生年金加入を75歳まで引き上げようかという検討も始まったということで、「長い老後をどう生きるか」という課題が大きくなってきました。

ここで注目したいのが、繰下げ受給です。公的年金は65歳から受給するのが原則ですが、受給開始年齢を早める、遅らすのふたつのオプションがあります。早めることを繰上げと呼び、遅らすことを繰下げと呼びます。年金を65歳より早く受け取ると、年金額が減額されます。また万が一65歳より前に病気で寝たきりにな

っても障害年金が受給できないなど、注意点がありますから、慎重に考えます。



年金を65歳より遅らせて受け取ると、年金額が増額されます。1ヶ月あたり0.7%の増額です。従って70歳まで遅らすと142%増し!これは結構インパクトがあります。例えば、厚生労働省が発表する年金受給額モデルケースでは、夫婦合わせて月23万円を年金収入としています。しかし生活には平均28万円が必要なので月5万円が赤字となります。65歳以降5万円の赤字が30年以上も継続するかも知れない…。確かにこれでは不安です。

心とお財布が幸せになる! お金との付き合い方 第3回



しかし70歳まで年金受給を遅らすと23万円の年金額が1.42倍、つまり約33万円になるのです。生活に必要なお金はそのまま28万円とすると、なんと毎月5万円ものお金が残ります。これが「繰下げマジック」です。実際繰下げという選択肢があるということをご存知ない方も多く、現時点では繰下げより繰上げを選択している方の方が多いそうです。しかし国は、繰下げという選択肢をもっと多くの方に知ってもらおうと今年4月から発行されるねんきん定期便には繰下げの情報を分かりやすく解説した図を掲載することにしました。

しかし、年金額が増えるのは魅力ですが、65歳から70歳までの生活をどうやって賄っていくのかという問題も残ります。働いて収入を得るというのもひとつでしょうけれど、体力・気力ともどれほど維持ができるのかというと、すべての方が十分な就労収入が得られるかというと、さすがに難しいのではないのでしょうか？



すると、やはり頼りになるのはそれまで作ってきた資産の取り崩しです。具体的には確定拠出年金の受け取り方がより重要になるでしょう。さらには、繰下げ5年間にどれだけの資金が必要なのかを早めに試算し、目標資産額を定めた上で運用状況をチェックしていくことも大切です。

また確定拠出年金だけではなく、一般NISAやつみたてNISAの活用、あるいはご本人だけではなく、配偶者の方のiDeCoへの加入を検討するなどいろいろ取り組むべきことがありそうです。特にiDeCoは65歳までの加入がいよいよ現実的になりそうですから、50代からの資産形成にもより使いやすくなります。

とはいえ、そもそもご自身の年金額はいくらなのか？という根本的な問題があります。それが分からなければ繰下げ効果がどの程度なのか分かりません。

そうですね、ご自身の年金額は「ねんきん定期便」で確認できますね。50歳以上の方は、見込み額が記載されています。今の年収に特に変化がなければ、65歳になればねんきん定期便に記載された金額が確定金額となります。

ただし、生年月日により特別支給の老齢厚生年金がある方がいます。男性だと昭和36年4月1日より前に生まれた方、女性だと昭和41年4月1日より前に生まれた厚生年金加入歴がある方については、65歳より

心とお財布が幸せになる! お金との付き合い方 第3回



も前に受給できる年金があります。これもねんきん定期便に記載されているので確認してください。なお、この金額は繰下げ繰上げ対象外ですので、その年齢で受給します。

また、50歳以降年収に変動があれば、翌年発行されるねんきん定期便にアップデートされた見込み額が記載されますので、合わせて確認します。

繰下げの注意点としては、年下の配偶者や18歳未満の子に支給される加給年金が、老齢厚生年金を繰下げると支給停止になるということです。例えば、会社員の夫と年下の妻という場合、夫が65歳になると加給年金が約40万円上乗せ支給されます。これは妻が65歳になるまで継続されるのですが、もともとが厚生年金の「家族手当」なので、老齢厚生年金を繰下げするとその期間加給年金が消滅してしまうのです。その

場合は、老齢厚生年金は繰下げず老齢基礎年金(国民年金)のみ繰下げをするなどの対策が有効です。

年金は老後の生活を支える重要な役割がありますが、なにしろ制度が複雑です。ぜひ早めにご家族のねんきん定期便を持って年金事務所に相談にいかれるか、ファイナンシャルプランナーにご相談されることをおすすめします。

ねんきん定期便を
持つてご相談!



山中 伸枝 やまなか のぶえ
www.nobueyamanaka.com

Profile

心とお財布を幸せにする専門家 ファイナンシャルプランナー (CFP®)
確定拠出年金相談ねっと 代表 fpsdn.net
一般社団法人公的保険アドバイザー協会 理事 siaa.or.jp

1993年米国オハイオ州立大学ビジネス学部卒業後メーカーに勤務。これからはひとりひとりが、自らの知識と信念で自分の人生を切り開いていく時代と痛感し、お金のアドバイザーであるファイナンシャルプランナー (FP) として2002年に独立。年金と資産運用、特に確定拠出年金やNISAの講演、ライフプラン相談を多数手掛ける。

執筆:金融庁サイト 有識者コラム連載、「なんとかなる」ではどうにもならない

定年後のお金の教科書(インプレス)、ど素人が始めるiDeCo(個人型確定拠出年金)の本(翔泳社)他

さわかみ投信株式会社

代表取締役社長 澤上 龍

長期投資を 再定義しよう

長期投資という言葉が資産運用の中心的地位を占めるようになってきました。さわかみファンドが生まれた当時(1999年)は、長期投資はおろか資産運用という言葉さえ一般には受け入れられない状況でした。平成バブルの崩壊後、人々は投資・運用はお金持ちの行うギャンブルだと考えていたのです。

あれから約20年、ようやく資産運用という言葉が市民権を得、昨今では長期投資こそが資産運用の軸だという声まで挙がってまいりました。元祖・長期投資家を自任する弊社にも多くの方から長期投資に関するご質問をいただくようになっていきます。

「長期とは何年ですか？」 そもそも、このような質問こそが長期投資を読み間違えてしまう原因であり、誤解を恐れずに言えば、投資の本質から外れたギャンブル要素を含んだ質問なのです。

投資とは何か……。自己投資という言葉が説明するように、投資とは未来に対して今を努力することです。「いつか外資系企業で働いて多額の給与を受け取り

たい。したがって語学を学ぼう」など。企業におけるシステム投資という言葉、「未来に提供するサービスや生産性向上のために、大きな開発費をかけ挑戦しよう」などです。完成したシステムを上手く用いるのは“システム運用”という言葉が相応しいのですが、システムそのものを作り上げようとする行為は“システム投資”なのです。



一般的な投資とは、株価などの価格変動を当てるゲームを指します。わかりやすく言えば、上がるか下がるか。それはまさにギャンブルです。本来、価格の前

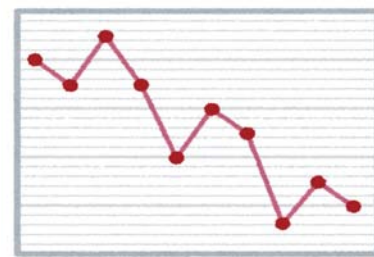
長期投資を再定義しよう



提には価値があり、その価値を軸に状況に応じて高い・安いという価格が存在するのです。皆さんが価値のイメージをしやすい自動車や飲料水などは、購入して使う（飲む）ことで減価していきます。しかし金融商品は購入した時の価値が定まっておらず、むしろ未来に値上がってほしいと期待するものです。その価格変動だけが注目され、上がる・下がるを予想するのが投資のイメージになってしまっています。しかし投資の本質は価値の上昇に乗ることなのです。

業であり人なので、努力によって成長できるからです。仮に投資で莫大な資産を築いたとしても、企業の成長が追いつかずにその資産の使い道がなかったら何のための投資でしょうか？ 投資とは未来づくりに参加する行為です。価値を上げようとする企業を応援し、共に歩むことなのです。結果が出るまである程度の時間がかかるからこそ長期投資なのであり、皆さん自身が努力する目標も明日明後日に結果が出るものではないのと同じです。

では、株式における価値とは何か…。つまるところ価値とは、企業が供給するモノやサービスの総量であり、消費者が求める総量とイコールな関係です。皆さんは企業が供給するモノやサービスを購入して生活を成り立たせています。企業は皆さんが購入してくれるからこそ存在できるのです。そして未来に求められるモノ・サービスを供給しようと励むことを企業努力というのです。投資とは、そんな企業努力を応援することに尽きます。皆さん自身が未来に必要とするモノ・サービスを手に入れられる社会をつくる。そしてその過程を応援したからこそ、企業価値成長というリターンが戻ってくる。リターンとは「取る・得る」という意味でなく「戻る・返ってくる」です。そして投資家（株主）はシェアホルダーと呼び、成長後の企業の利益が分配（シェア）される権利を有する者を指します。金や債券、不動産の価格変動を当てるのも投資の仲間ですが、株式投資が投資の王様と言われる所以は、株式は企



**暴落時こそ
投資のタイミング！**



昨今、投資の短期化が更に進んでいます。そしてその結果、投資パフォーマンスが出にくくなっています。例えばファンドであれば、市場の暴落時こそ投資すべき絶好のタイミングなのですが、多くの投資家が更なる下落を恐れ、ファンドから資金を引き上げてしまいます。するとどうなるか。ファンドの運用者は、投資チャンスにも関わらず保有している株式等を安値で売却し、皆さんの資金引き上げに答えなければなりません。そんなことをしたらパフォーマンス

長期投資を再定義しよう



など出るわけがないのです。企業においても同じです。未来に向かって不断の努力をしている最中は利益が抑えられる可能性があります。しかしそれだけで投資家が企業を見放せば、企業経営者は未来に対する大きな勝負よりも目先の利益を追い求めるはめになります。結果、生まれるべきモノ・サービスが生まれなくなり、豊かな未来もなければ大きな利益還元の見込みもなくなってしまうのです。

投資において大切なのは企業理念を応援できるか、ファンドの投資哲学に共感できるかです。手前味噌な話をすれば、さわかみファンドは投資哲学を大切に、長期投資一本で今日に至っております。おそらくそれが多くの一般生活者の心に届いたからこそ、今夏には20周年という稀に見る長寿ファンドへと育ててもらえたのでしょう(さわかみ投信の20年の歩みは拙著「儲けない勇気～さわかみ投信の軌跡～(幻



冬舎)」をご覧ください。

インデックス投資やAI運用が台頭している反面で、世の中を憂慮するESG投資なども声高に叫ばれ始めています。投資が簡単・便利になる傍らで、投資がもたらす力を世の中が求め始めたと言えるでしょう。せっかく投資をするのであれば、一人ひとりが未来を担っていく長期投資を考えてみませんか？ 自分のためだけでなく社会のために動いてみませんか？ そうして取ったリスクは、いつか必ずリターンとなって返ってくるはずです。

以上



澤上 龍

さわかみりょう

Profile

2000年さわかみ投信に入社。アナリスト、ファンドマネージャーを経て、2009年取締役就任。株式会社さわかみホールディングス取締役、同関連会社の代表取締役を経て、2013年代表取締役社長に就任。



当下半年（2018年10月1日～2019年3月29日）の東京株式市場では、日経平均株価が上半期末（2018年9月28日）終値24,120円に対し、下半期末（2019年3月29日）終値が21,205円と、12.1%の下落となりました。

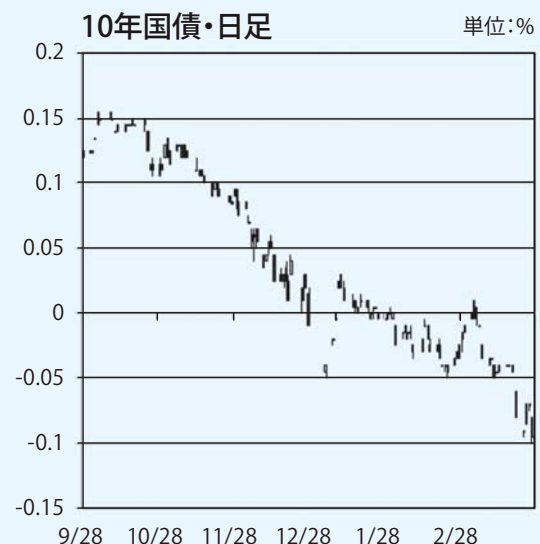
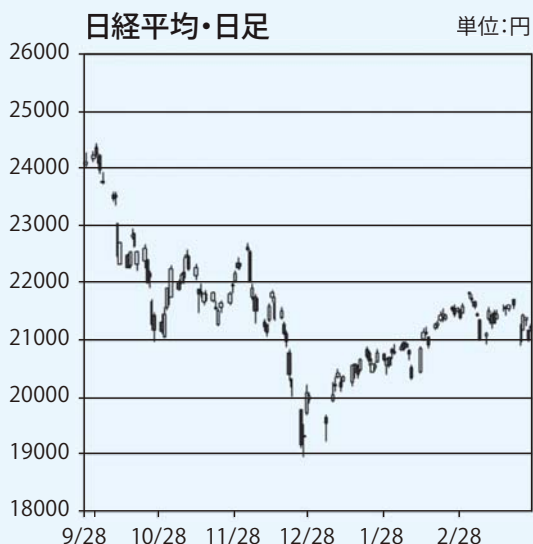
下半期の株式市場は終値ベースで10月2日の高値24,270円から12月25日の安値19,155円まで約21%の大幅な下落基調となりました。米中の貿易摩擦問題がエスカレートする中、世界景気の減速を示す経済指標や企業業績の悪化を示すデータが明らかになったことを背景に、世界的に株安が進行しました。

ただし、世界の株価はクリスマス前後を底に反発に転じました。日経平均株価も、12月25日を底に2019年3月末まで約11%の上昇となりました。この要因としては、米中貿易摩擦に関して米中両国が解決に向け歩み寄りを見せたことがあげられます。3月1日に猶予期限が切れる予定だった米国の

中国製品への関税率アップは見送りとなり、米中両国の通商協議が継続されています。

また、米国の長期金利が、2018年の10月から11月にかけての3.2%前後から、2019年3月末には2.4%程度（いずれも10年国債）まで低下したことも、株価反発の要因として指摘されます。米国のFRBは政策金利を12月19日のFOMCで2.25%から2.50%に引き上げあげましたが、その後は景気への配慮から一転して金融政策をこれまでの引き締めから中立的な緩和の方向に舵を切りました。

なお、当下半年の国内債券市場は、上期末からほぼ一貫して上昇し、10年国債利回りは上期末の0.125%から3月末には-0.095%のマイナス金利水準へと低下しました。日銀の金融政策の大枠に変化はなかったため、米国の長期金利の低下が背景と見られます。



本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家で自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

提供：株式会社SBI証券 投信・債券部



米国株式

当下半年（2018年10月1日～2019年3月31日）の米国株式市場では、ダウ工業株30種平均（NYダウ）が前上半期末（2018年9月30日）終値26,458ドル31セントに対し、当下半年末（2018年9月30日）終値は25,928ドル68セントと、2.0%下落して終わりました。

ダウ工業株30種平均（NYダウ）は、7-9月期の決算発表で景気動向を反映しやすい資本財企業の決算に世界経済の減速や米中摩擦の影響が表面化したことから調整が始まりました。米中摩擦「休戦」への期待で反発する局面もありましたが、12月には米中貿易摩擦激化への懸念が強まりました。また、米国の経済指標が堅調な一方、中国の経済指標に悪化が目立つなか、FRB（米連邦準備制度理事会）が政策金利の引き上げを継続するとの姿勢を維持して金融市場の懸念が高まり、12月24日には21,792ドル20セントの安値を付けました。一方、19年に入ってFRBが利上げを休止して経済を下支えする

姿勢を明確にしたことから市場は反発に転じ、さらに米中通商協議の進展に対する期待が相場を押し上げました。機関投資家が幅広くベンチマークとしているS&P500は、この下半期に2.7%下落となりました。

米国債券

10年国債利回りは、前上半期末の3.06%に対し、当下半年末は2.41%と、0.65%の幅で低下しました。下半期に入った当初は一時3.2%台をつけましたが、世界経済の減速を示す指標が増えて11月から低下が始まりました。中国と欧州の経済指標に悪化が目立ち、堅調な米国にも波及するとの懸念で年末にかけて2.6%台へ一貫して低下を辿りました。19年に入ってFRBが利上げを休止する姿勢に転換したことで経済への懸念は後退したものの、国債利回りには抑制要因となりました。さらに3月のFOMC（米連邦公開市場委員会）では、メンバーの19年末政策金利見通しが「年内の利上げなし」まで引き下げられたことから2.4%台に急低下しました。



本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

提供: 株式会社SBI証券 投信・債券部



市況レポート 2018年度下期

外国為替市場

当下半期(2018年10月1日～2019年3月29日)の外国為替市場では、ドル・円相場が前上半期末(2018年9月28日)の最終レート1ドル113円57銭に対し、下半期末(2019年3月29日)は110円99銭と、2.3%の円高・ドル安となりました。ユーロ・円相場は同じく前上半期末の最終レート1ユーロ132円14銭に対し、下半期末は124円56銭と、5.7%の円高・ユーロ安となりました。

ドル・円相場に関しては、2018年後半から2019年年初にかけて1ドル107円程度までの円高が進行しました。米国株を筆頭に世界的に株価が下落する中、安全資産としての円買いが進行したものです。1月3日に米国アップル社の業績予

想の下方修正が公表されたことに伴いダウ工業株30種平均(NYダウ)が660ドル急落した際には、ドル・円相場は瞬間的に同104円台まで円が買われました。ただし、その後は米中貿易協議の進展期待や、米国の経済指標が比較的堅調だったことを背景に、株価も回復に転じ、ドル・円相場も110円台にまでドルが買い戻されました。

ユーロ・円相場もドル・円相場とほぼ同じ展開となりましたが、ドルに比べユーロの戻りがやや弱くなっています。Brexit(英国のEU離脱問題)に絡む混乱、ユーロ圏内でのポピュリズムの台頭などが背景にあると思われます。



本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

提供：株式会社SBI証券 投信・債券部

コールセンターからのお便り



個人型確定拠出年金 手数料について



個人型確定拠出年金をご利用の際には、手数料をお客様ご自身にご負担いただきます。
手数料には以下のようなものがあります。

新規ご加入時手数料(初回のみ)

- 国民年金基金連合会分…2,777円
- 運営管理機関分……………運営管理機関により異なります。

加入・運用期間中の手数料

■ 加入者手数料

- 国民年金基金連合会分…月額103円(掛金の引き落としがない月には徴収されません)
- 事務委託先金融機関分…月額 64円
- 運営管理機関分……………運営管理機関により異なります。

■ 運用指図者手数料

- 事務委託先金融機関分…月額 64円
- 運営管理機関分……………運営管理機関により異なります。

※その他、都度手数料として給付事務手数料、還付事務手数料、移換時手数料等がございますが、徴収の有無や手数料額は運営管理機関により異なります。

※2019年5月現在の手数料となります。



手数料の 徴収方法

加入者(掛金を拠出するお立場)の方

掛金の引落があった場合は、手数料は引き落とされた掛金から控除されます。
また、手数料控除後の金額で商品購入が行われます。

※掛金の引落がなかった場合は、下記「運用指図者」と同様の手数料負担方法となります。

運用指図者(掛金を拠出せず運用のみを行うお立場)の方

保有する商品を手数料相当額分売却し現金化することにより徴収いたします。
保有する商品の残高比率により、商品毎の按分比率が決定します。

※複数の商品を保有される方で、「スイッチング中や満期の償還処理のために売却ができない」商品がある場合は、その商品は売却対象から除外されることがあります。

コールセンターからのお便り



よくあるご質問

Q&A



Q 掛金の拠出を始めていきなり損益がマイナスとなっているのは何故？

A 掛金から手数料が控除されるため、マイナスが生じます。手数料は別途お口座から引落させていただくものではなく、毎月の掛金から控除します。加入者サイトのホーム画面上部水色の枠内の「取引履歴等」>「事務手数料履歴」にてご確認ください。



Q 元本確保型の定期預金で運用しているのに、損益がマイナスとなっているのは何故？

A 手数料がマイナスの原因です。定期預金の運用の結果、運用損が出ることはありませんが、手数料が控除されることにより全体の損益がマイナスとなります。

例えば…

年間の口座管理手数料は最低でも768円(64円×12か月)のご負担です。

100万円を金利0.02%の定期預金で1年運用した場合、満期時に付与される利息は200円であり、利息により年間の口座管理手数料を補うことはできません。

Q 手数料額が毎月異なるのは何故？

A 運用指図者の方、加入者であっても掛金の引落がなかった方の場合、口座管理手数料は保有される各運用商品を手数料相当分売却し、現金化することで徴収しております。売却数量を確定する基準日と売却の約定日が同一日ではないため解約価額の変動の影響を受けることなどにより、実際の売却額と所定の手数料に差額が生じることがあります。売却結果と手数料額に差額が生じた場合であっても、お客様への追徴、返還は行わず手数料の精算は終了するものとなっております。

例えば…

●売却金額 63円 の場合

事務委託先金融機関分として63円を徴収し、精算終了。

●売却金額 67円 の場合

事務委託先金融機関分として64円を徴収し、運営管理機関分手数料として3円を徴収し、精算終了。



ご参考情報

“確定拠出年金の節税メリット”について

- 掛金は、全額所得から差し引くことができます。(所得税や住民税の節税につながります。)
- 運用中の利益が非課税扱いとなります。
- 将来、受け取りの際にも税制優遇があります。

推薦図書／無料セミナーのご案内

推薦
図書

『臆病者のための株入門』

著者：橘 玲 (たちばな あきら) 文春新書 2006年4月発行

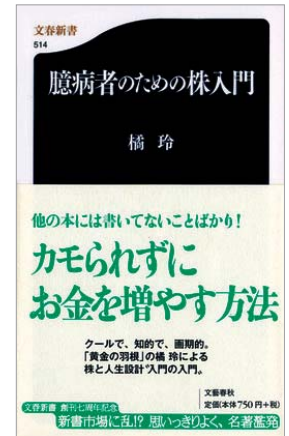
橘玲さんは「海外投資を楽しむ会」の創設メンバーであり、金融ビックバン当時に同会が出したゴミ投資家シリーズは当時斬新な切り口で金融に関するタブーを滅多切りし、読者を魅了しました。

今では隔世の感がありますが、ビックバン以前の「株式」は不浄のもの、さわってはいけないタブーであった時代に、インターネットで誰もが株式に投資できる現在を正確に予想しています。同会の出版した「インターネット株式入門」を読

んで影響を受けたF Pも多数いるでしょう。

本書は絶版となった同書に代わり再度切り口を変えて入門書として橘氏が書き下ろしています。

アイロニカルな表現は好き嫌いがあるかもしれませんが株式の本質を知るのに大変良書です。ぜひご一読を。



無 料 セ ミ ナ ー の ご 案 内

第3回 加入者向けセミナー(東京会場)

- テーマ……「長期投資について」
- 講 師…… さわかみ投信株式会社
代表取締役社長 澤上 龍氏
- 日 時…… 2019/6/12(水) 18時半～20時
(18時 受付開始)
- 場 所…… 泉ガーデンタワー 22F 大会議室
東京都港区六本木1-6-1
(<http://izumigarden.jp/access/>)
- 定 員…… 80名予定(先着順)
- 参加費用…無料

金融機関を経由せずに運用会社が直接投資信託を販売する独立系直販投信のさきがけ、さわかみ投信の澤上龍社長に「骨太の長期投資」について熱く語っていただきます。同氏の最新の書籍、さわかみ投信の軌跡を描いた「儲けない勇気」は現在ビジネス書のベストセラーです。「長期投資とは何か」、投信業界に革命を起こしたさわかみ投信の20年以上の実績に基づいた貴重なメッセージをお伝え頂きます。投資とは何か、投資の基本を知りたい方、是非ご参加ください。



講師プロフィール



さわかみ投信株式会社
代表取締役社長
澤上 龍(さわかみりょう)

2000年さわかみ投信に入社。アナリスト、ファンドマネージャーを経て、2009年取締役就任。株式会社さわかみホールディングス取締役、同関連会社の代表取締役を経て、2013年代表取締役社長に就任。

応募方法 下記予約サイトリンクからお申込みください。

https://reserva.be/benefit401k/reserve?mode=service_staff&search_evt_no=3beJwzNDAXNjMAAAQhAS8

●氏名 ●氏名(カナ) ●メールアドレス ●電話番号 ●会社・組織名
上記5項目をご入力ください。

●「委託先コード」は入力不要です。

申込み先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

サービスご利用案内について



加入者サイト

加入者サイト(※1)から確定拠出年金の資産残高を確認することや、掛金の配分変更やスイッチングをすることができます。ぜひご利用ください。なお、加入者サイトの操作方法等にご不明点がある場合、コールセンターへお問い合わせください。

※1 加入者サイト… https://www.benefit401k.com/customer/RkDCMember/Common/JP_D_BFKLogin.aspx

電話でのお問い合わせ

コールセンター オペレータ対応

皆様からのお問い合わせに対して、専門のオペレーターによる迅速な対応が可能な体制を整えています。

自動音声応答 でも対応

オペレーター受付時間外でも伝言の受付が可能です。



0120-652-401

営業時間：
平日10:00～18:00

ご契約のお電話からつながらない場合は、
03-6435-5522にお電話ください。



インターネット(よくある質問)のご案内

下記のURLから確定拠出年金制度についてのよくある質問をご確認頂けます。

<http://www.benefit401k.com/ja/customer/faq/index.html>



■提供される情報は、万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。掲載されている事項は、企業年金等の一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。

■掲載記事・内容はご加入者の方を対象としております。対象者以外の無断転用・転載はお断りいたします。

■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、ご意見等は当資料作成時時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

■当資料は、確定拠出年金に関する情報等をお知らせする為にSBIベネフィット・システムズにより作成されたものです。

編集後記

この春、社会に出た新卒のみなさまはそろそろ会社に慣れたころでしょうか。このレターをお読みいただいているということは、企業型DCに加入したラッキーな方ということです。なぜなら、日本では6人に一人しか企業型に加入出来ないからです。新卒のみなさんのこれからの半世紀はとてつもなくスピードが速く、世の中の仕組みも大きく変わることでしょう。悲観的な見方が多い世の中ですが、流行の「ファクト」を見る限り、世の中は少しずつベターな方向に進んでいるようです。

気付きににくいですが、これからたくさん時間を持っているみなさんは、今、圧倒的に有利な状況です。人生を「資産つみたてゲーム」と捉えると、得点はゼロですが、「時間」という強力な武器があるからです。

人生を「ゲーム」扱いして怒られそうですが、時間は「必勝ツール」です。ゴールのファイナンシャル・インディペンデンス(経済的自立)を目指して、ゆっくり、じっくり、スタートしていきましょう。